

## 教育改革・D X・G X推進対策特別委員会 県内行政調査

1 調査日 令和8年7月16日（木）

### 2 調査の概要

#### （1）滋賀県立守山北高等学校（守山市笠原町）

滋賀県立守山北高等学校では、令和7年度に新学科「みらい共創科」が設置され、多様性を尊重し、他者と協働しながら、よりよい地域の未来を創造する人材育成に取り組んでいる。

同科では、3年間を通じて行うメインプログラムを中心として、フィールドワークやインターンシップ、プロジェクト学習を行うとともに、企業・自治体・大学等と協働し、地域課題の解決をテーマとした探究的な学びが進められている。

本委員会では、「後期中等教育段階における魅力的な教育の推進について」を重点調査項目の一つとし、児童生徒の学びの環境整備や、特色ある学校づくりについて調査することとしており、今後の委員会活動の参考とするため、同校を訪問し、地域と連携した探究学習等の特色ある教育活動について調査を行った。



#### （2）ヤンマー中央研究所（米原市梅ヶ原）

ヤンマーエネルギーシステム株式会社では、水素燃料電池発電システムをはじめとした脱炭素に資する技術開発が進められている。

本委員会では、再生可能エネルギーやクリーンエネルギーを活用したG Xの推進について調査することとしている。地域における脱炭素化を進める上で、発電時に二酸化炭素を排出しない水素エネルギー等の利活用は重要な視点であり、関連技術の動向や今後の活用可能性の把握は重要であることから、今後の委員会活動の参考とするため、同社を訪問し、水素エネルギーの活用をはじめとしたG Xの取組や社会実装に向けた課題について調査を行った。

